

四万十町観光動態調査報告書

令和4年11月

一般社団法人 四万十町観光協会

目次

I	調査の概要	1
1.	調査設計	1
2.	調査数の概要	1
3.	調査結果の見方	2
II	調査結果	3
1.	居住地	3
2.	性別・年齢	6
3.	同行者（旅行形態）	7
4.	旅行の企画・手配	8
5.	旅行の日程	9
6.	四万十町への訪問回数	11
7.	利用交通機関	12
8.	旅行先としての四万十町	13
9.	理由・同時に検討した目的地	14
10.	来町の目的	16
11.	滞在予定	16
12.	参考にした情報源	17
13.	周遊先	18
14.	町内平均消費額	19
15.	総合満足度	20
16.	期待と実際のギャップ	20
17.	再訪の意向	21
III	クロス集計	22
1.	参考にした情報源	22
2.	四万十町が旅行の目的地の旅行者層	24
3.	観光消費額	27
4.	四万十町での主な目的	30
5.	四万十町への訪問回数	32
IV	ご意見・ご感想	35
V	所感	40

I 調査の概要

1. 調査設計

- (1) 調査対象：四万十町内の調査地点への立ち寄り客
- (2) 調査方法：調査員による対面式アンケート、及び
宿泊施設の利用客への記入依頼式アンケート
- (3) 調査期間：第一回 令和4年8月11日～9月10日の5日間
- (4) 調査機関：株式会社クリケット「季刊高知」編集部

2. 調査数の概要

- (1) 標本数：対面式アンケート 923票
記入依頼式アンケート 89票
- (2) 調査日程：以下の通り

実施日	実施場所	人数	調査数
8/11	道の駅めぐり窪川・岩本寺・JR窪川駅	3	168
〃	道の駅四万十とおわ・ふるさと交流センター	2	106
8/13	道の駅めぐり窪川・岩本寺・JR窪川駅・カフェ半平	3	160
8/14	道の駅四万十とおわ・ふるさと交流センター	2	88
8/27	道の駅めぐり窪川・岩本寺・JR窪川駅	4	231
〃	道の駅四万十とおわ・ふるさと交流センター	2	88
9/10	道の駅めぐり窪川・岩本寺・JR窪川駅・カフェ半平	2	82
対面式アンケート 計5日		18	923

実施場所	調査数
美馬旅館・美馬旅館はなれ 木のホテル	16
ホテル松葉川温泉	24
ファミリーロッジ旅籠屋・四万十店	26
四万十オートキャンプ場ウエル花夢	23
記入依頼式アンケート 4施設	89

3. 調査結果の見方

3. 調査結果の見方

本報告書では、調査項目ごとに集計し、図表と解説を付した。以下、注意事項を示す。

- (1) 図表に記載してある数値は、特段の注意事項がない限りは、図表番号に記載してある単位と対応する。
- (2) 図表の構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、択一設問の合計が100%にならない場合がある。なお、構成比は当該設問の有効回答者数を母数として算出している。
- (3) 質問文の末尾に（MA）記載されている設問は、複数回答を許容している。
- (4) 自由記述による回答を求めた設問（FA）については、類似性のあるものは多少の表記ゆれを許容し集約している。
- (5) クロス集計（P26～）では、n値が10未満の項目については参考値として扱い、原則として解説の対象に取り上げていない。
- (6) 本調査結果と比較するため、以下の調査資料を用いた。

●令和3年度「四万十町観光動態調査」

調査機関：株式会社クリケット「季刊高知」編集部

調査期間：令和3年9月18日～12月11日

標本数：対面式1,804票、記入依頼式223票

II 調査結果

1. 居住地

あなたのお住まいはどこですか。国内にお住まいであれば都道府県名、海外であれば国名、高知県内にお住まいの場合は市町村名を教えてください。

表 1-1 地域ブロック別居住地(件・%)

	2022年調査		2021年調査	
	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)
北海道・東北	5	0.5	14	0.7
関東	106	10.5	176	8.7
新潟・北陸	0	0.0	8	0.4
甲信・東海	21	2.1	63	3.1
近畿	183	18.1	214	10.6
中国	62	6.1	112	5.5
四国	225	22.2	419	20.7
高知県	381	37.6	987	48.8
九州・沖縄	29	2.9	31	1.5
海外	0	0.0	0	0.0
	※有効回答率 100.0%		99.9%	

居住地を尋ねたところ、地域ブロック別では「高知県」が 37.6%で最も多く、次いで「四国」が 22.2%、「近畿」が 18.1%、「関東」が 10.5%と続いた。

前回調査と比べ「近畿」が 7.5 ポイント、「関東」が 1.8 ポイント、「四国」が 1.5 ポイントなどと増加した一方で、「高知県」が 11.2 ポイント減少となっている。

表 1-2 都道府県別居住地(件・%)

	2022年調査		2021年調査	
	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)
北海道	1	0.1	7	0.3
青森県	0	0.0	0	0.0
岩手県	0	0.0	0	0.0
宮城県	3	0.3	4	0.2
秋田県	0	0.0	0	0.0
山形県	0	0.0	1	0.0
福島県	1	0.1	2	0.1
茨城県	1	0.1	2	0.1
栃木県	0	0.0	2	0.1
群馬県	4	0.4	5	0.2
埼玉県	9	0.9	17	0.8
千葉県	11	1.1	28	1.4
東京都	52	5.1	91	4.5
神奈川県	29	2.9	31	1.5
新潟県	0	0.0	3	0.1
富山県	0	0.0	2	0.1
石川県	0	0.0	2	0.1
福井県	0	0.0	1	0.0
山梨県	0	0.0	0	0.0
長野県	0	0.0	5	0.2
岐阜県	4	0.4	7	0.3
静岡県	4	0.4	7	0.3
愛知県	13	1.3	44	2.2

	2022年調査		2021年調査	
	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)
三重県	7	0.7	3	0.1
滋賀県	6	0.6	8	0.4
京都府	14	1.4	17	0.8
大阪府	97	9.6	107	5.3
兵庫県	44	4.3	61	3.0
奈良県	8	0.8	12	0.6
和歌山県	7	0.7	6	0.3
鳥取県	1	0.1	5	0.2
島根県	2	0.2	1	0.0
岡山県	31	3.1	56	2.8
広島県	26	2.6	41	2.0
山口県	2	0.2	9	0.4
徳島県	24	2.4	59	2.9
香川県	65	6.4	96	4.7
愛媛県	136	13.4	264	13.0
高知県	381	37.6	987	48.8
福岡県	19	1.9	17	0.8
佐賀県	1	0.1	2	0.1
長崎県	1	0.1	2	0.1
熊本県	4	0.4	3	0.1
大分県	3	0.3	4	0.2
宮崎県	1	0.1	1	0.0
鹿児島県	0	0.0	1	0.0
沖縄県	0	0.0	1	0.0

※有効回答率 100.0%

99.9%

都道府県別では「高知県」が 37.6%で最も多く、次いで「愛媛県」が 13.4%、「大阪府」が 9.6%、「香川県」が 6.4%と続いた。

前回調査と比べ「大阪府」が 4.3 ポイント、「香川県」が 1.7 ポイント、「神奈川県」が 1.4 ポイントなどと増加した一方で、「高知県」が 11.2 ポイント、「愛知県」が 0.9 ポイント、「徳島県」が 0.5 ポイントなどと減少している。

表 1-3 県内市町村別居住地(件・%)

	2022年調査		2021年調査	
	件数	構成比	件数	構成比
	(件)	(%)	(件)	(%)
高知市	219	57.5	515	52.2
室戸市	0	0.0	1	0.1
安芸市	3	0.8	13	1.3
南国市	29	7.6	54	5.5
土佐市	11	2.9	25	2.5
須崎市	12	3.1	55	5.6
宿毛市	15	3.9	37	3.8
土佐清水市	4	1.0	18	1.8
四万十市	29	7.6	88	8.9
香南市	10	2.6	31	3.1
香美市	9	2.4	28	2.8
東洋町	0	0.0	0	0.0
奈半利町	1	0.3	0	0.0
田野町	0	0.0	6	0.6
安田町	0	0.0	1	0.1
北川村	0	0.0	0	0.0
馬路村	1	0.3	0	0.0
芸西村	0	0.0	1	0.1

	2022年調査		2021年調査	
	件数	構成比	件数	構成比
	(件)	(%)	(件)	(%)
本山町	2	0.5	1	0.1
大豊町	1	0.3	1	0.1
土佐町	1	0.3	1	0.1
大川村	0	0.0	0	0.0
いの町	14	3.7	29	2.9
仁淀川町	1	0.3	5	0.5
中土佐町	6	1.6	12	1.2
佐川町	5	1.3	15	1.5
越知町	0	0.0	1	0.1
梶原町	1	0.3	8	0.8
日高村	2	0.5	1	0.1
津野町	0	0.0	6	0.6
四万十町	0	0.0	2	0.2
大月町	0	0.0	6	0.6
三原村	0	0.0	3	0.3
黒潮町	5	1.3	22	2.2

※有効回答率 100.0% 99.9%

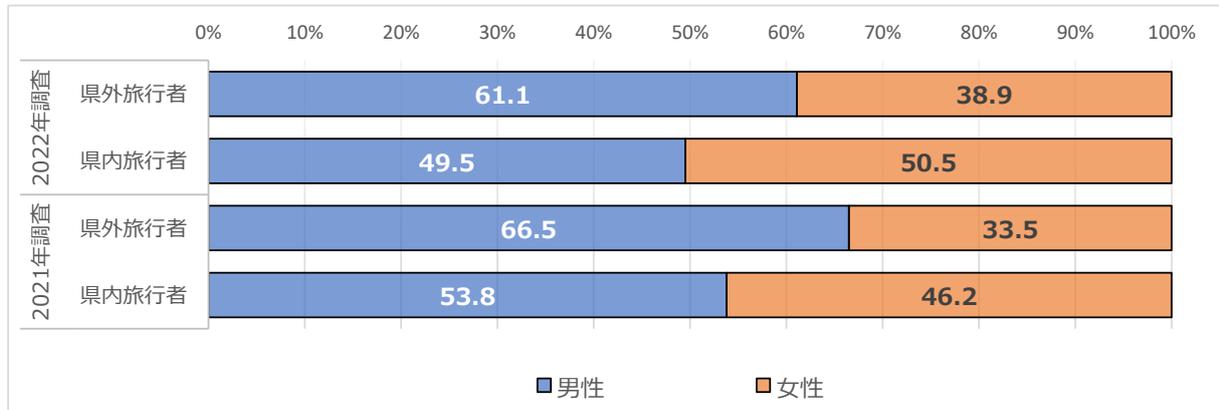
高知県内の市町村別では「高知市」が57.5%で最も多く、次いで「南国市」と「四万十市」がともに7.6%、「宿毛市」が3.9%、「いの町」が3.7%と続いた。

前回調査と比べ「高知市」が5.3ポイント、「南国市」が2.1ポイント、「いの町」が0.8ポイントなどと増加した一方で、「須崎市」が2.5ポイント、「四万十市」が1.3ポイント、「黒潮町」が0.9ポイントなどと減少している。

2. 性別・年齢

あなたの性別、年齢を教えてください。

図 2-1 性別(%)



性別を尋ねたところ、県外旅行者では、「男性」の割合がやや多く、県内旅行者では「男性」と「女性」の割合がほぼ同じとなっている。

前回調査と比べ、県外旅行者では「女性」が5.4ポイント増加、県内旅行者でも「女性」が4.3ポイント増加となっている。

図 2-2 年代(%)



年代を尋ねたところ、県外旅行者では「40歳代」・「50歳代」・「60歳代」の順で多くなっている。前回調査と比べ「40歳代」が8.9ポイントの増加、「60歳代」が5.3ポイントの減少などとなっている。

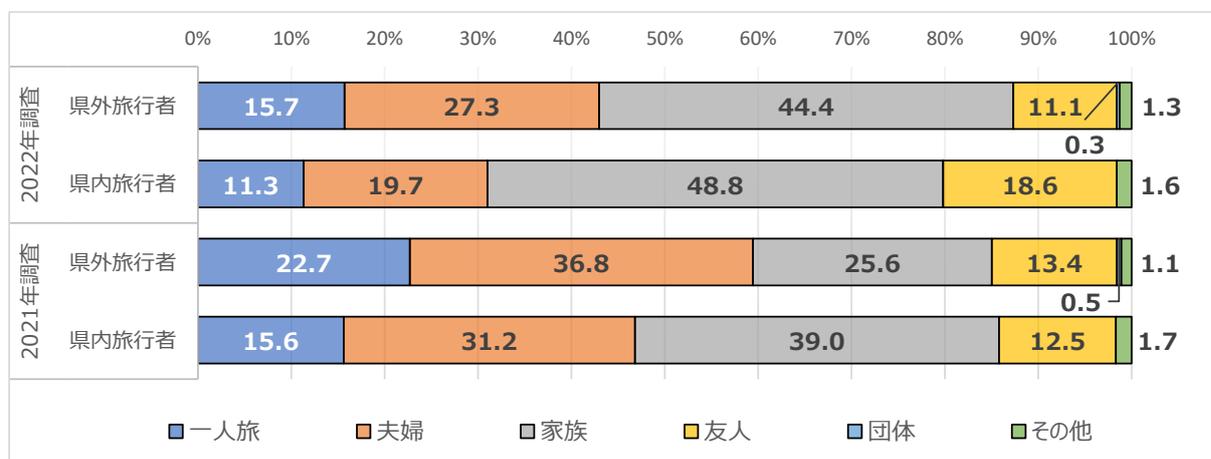
県内旅行者では「30歳代」と「40歳代」・「50歳代」の順で多くなっている。前回調査と比べ「30歳代」が9.3ポイントの増加、「50歳代」が6.2ポイントの減少などとなっている。

県内外いずれの旅行者も若い年代層において増加している。

3. 同行者（旅行形態）

今回はどなたと一緒に旅行ですか。

図 3-1 同行者(旅行形態)(%)



同行者を尋ねたところ、県外旅行者では「家族」が44.4%で最も多く、次いで「夫婦」が27.3%、「一人旅」が15.7%と続いた。前回調査と比べ「家族」が18.8ポイントの増加、「夫婦」が9.5ポイントの減少などとなっている。

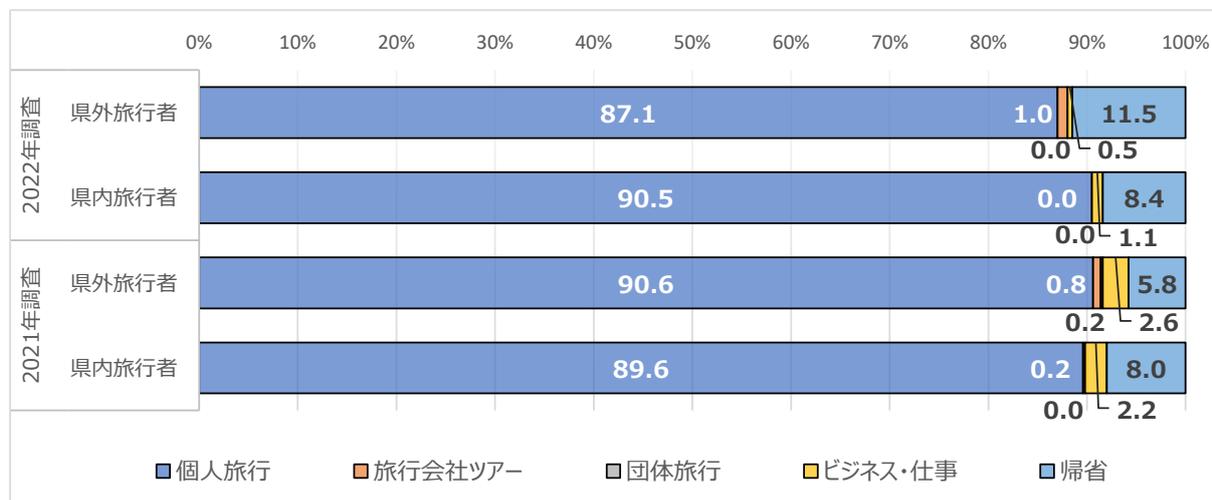
県内旅行者では「家族」が48.8%で最も多く、次いで「夫婦」が19.7%、「友人」が18.6%と続いた。前回調査と比べ「家族」が9.8ポイントの増加、「夫婦」が11.5ポイントの減少などとなっている。

県内外いずれの旅行者も「家族」の増加が目立っている。

4. 旅行の企画・手配

今回のご旅行の企画・手配について教えてください。

図 4-1 企画・手配(%)



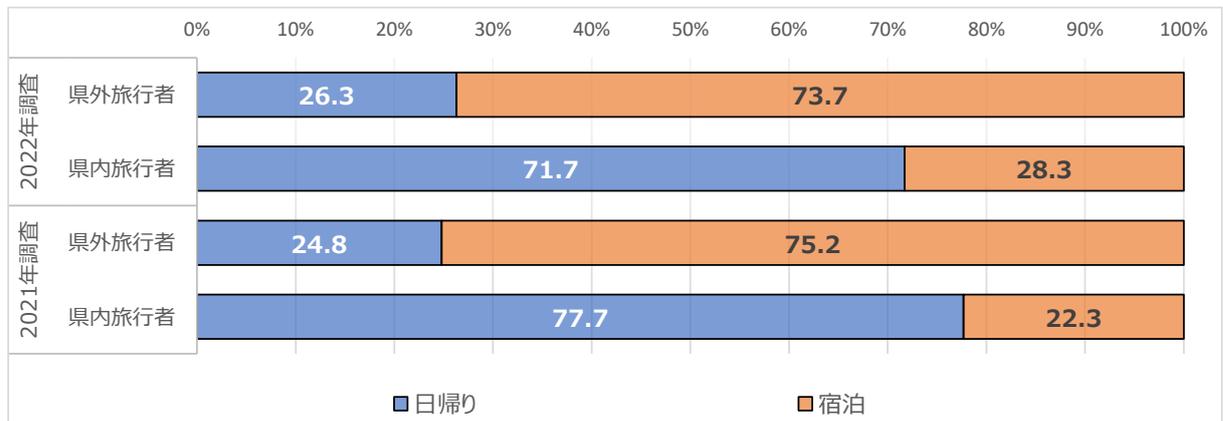
旅行の企画・手配を尋ねたところ、県外旅行者では「個人旅行」が87.1%で最も多く、次いで「帰省」が11.5%、「旅行会社ツアー」が1.0%と続いた。前回調査と比べ「帰省」が5.7ポイントの増加、「個人旅行」が3.5ポイントの減少などとなっている。

県内旅行者では「個人旅行」が90.5%で最も多く、次いで「帰省」が8.4%、「ビジネス・仕事」が1.1%と続いた。前回調査と比べ「個人旅行」が0.9ポイントの増加、「ビジネス・仕事」が1.1ポイントの減少などとなっている。

5. 旅行の日程

今回のご旅行は日帰りですか、宿泊ですか。宿泊であれば何泊、そのうち高知県内では何泊されますか。

図 5-1 日帰り・宿泊(%)

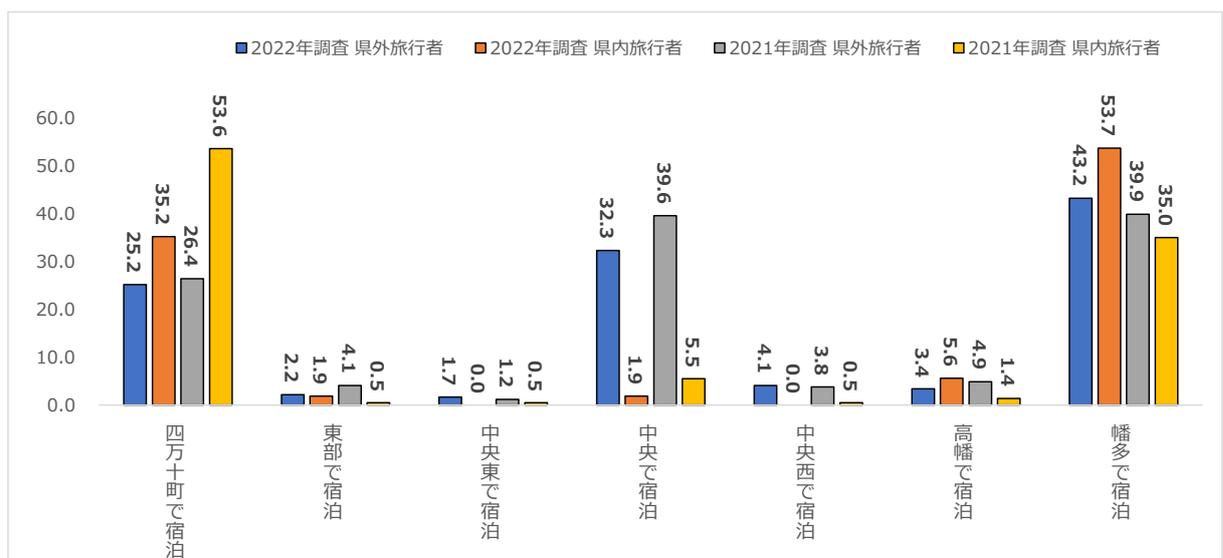


旅行が日帰りか宿泊か尋ねたところ、県外旅行者では「宿泊」が 73.7%、「日帰り」が 26.3% となった。前回調査と比べ「日帰り」が 1.5 ポイントの増加となっている。

県内旅行者では「日帰り」が 71.7%、「宿泊」が 28.3%となった。前回調査と比べ「宿泊」が 6.0 ポイントの増加となっている。

高知県内で宿泊する場合は、どのエリアで何泊されますか。

図 5-2 宿泊地域(%)



宿泊地域についてみると、県外旅行者では「幡多（黒潮町～大月町）」が 43.2%で最も多く、次いで「中央（高知市）」が 32.3%、「四万十町」が 25.2%と続いた。前回調査と比べ「幡多（黒潮町～大月町）」が 3.3 ポイントの増加、「中央（高知市）」が 7.3 ポイントの減少などとなっている。

県内旅行者では「幡多（黒潮町～大月町）」が 53.7%で最も多く、次いで「四万十町」が 35.2%、

「高幡（須崎市～梶原町）」が5.6%と続いた。前回調査と比べ「幡多（黒潮町～大月町）」が18.7ポイントの増加、「四万十町」が18.4ポイントの減少などとなっている。

表 5-1 地域別平均宿泊数(泊)

	2022年調査		2021年調査	
	県外旅行者	県内旅行者	県外旅行者	県内旅行者
全泊数	2.98	1.25	2.59	1.20
県内泊数	1.81	1.19	1.66	1.07
四万十町で宿泊	0.40	0.42	0.36	0.57
東部で宿泊	0.02	0.02	0.05	0.01
中央東で宿泊	0.03	-	0.01	0.03
中央で宿泊	0.51	0.04	0.56	0.07
中央西で宿泊	0.08	-	0.05	0.01
高幡で宿泊	0.04	0.08	0.06	0.01
幡多で宿泊	0.73	0.63	0.54	0.37

平均宿泊数をみると、県外旅行者は全日程2.98泊のうち県内で1.81泊している。県内地域の内訳は、「幡多（黒潮町～大月町）」で0.73泊、「中央（高知市）」で0.51泊、「四万十町」で0.40泊などとなっている。前回調査と比べ「幡多（黒潮町～大月町）」が0.19泊の増加、「中央（高知市）」が0.05泊の減少などとなっている。

県内旅行者は全日程1.25泊のうち県内で1.19泊している。県内地域の内訳は、「幡多（黒潮町～大月町）」で0.63泊、「四万十町」で0.42泊、「高幡（須崎市～梶原町）」で0.08泊などとなっている。前回調査と比べ「幡多（黒潮町～大月町）」が0.26泊の増加、「四万十町」が0.15泊の減少などとなっている。

6. 四万十町への訪問回数

四万十町の訪問が何回目ですか。2回目以上の場合、直前の訪問はいつ頃（季節や何月か等）でしたか。

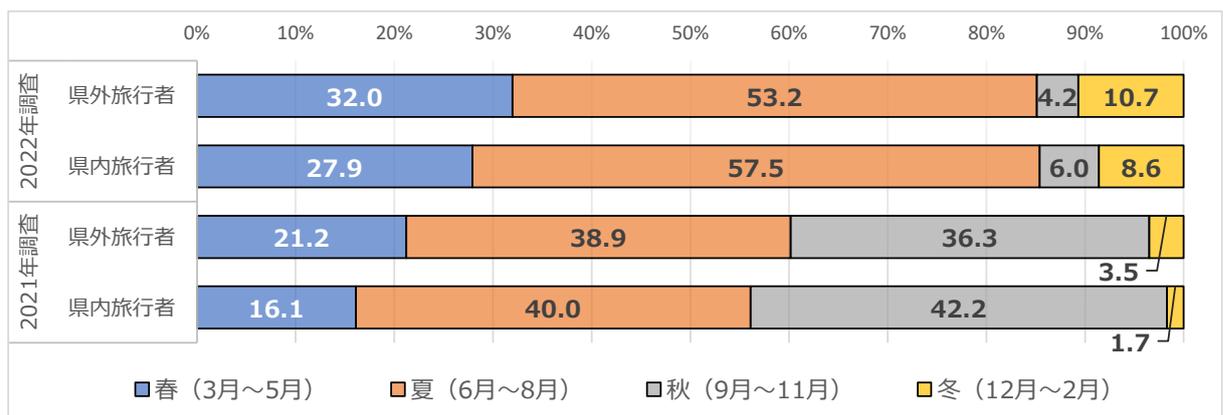
図 6-1 訪問回数(%)



四万十町への訪問回数を尋ねたところ、県外旅行者では「はじめて」が41.6%で最も多く、次いで「4回目以上」が39.4%、「2回目」が12.3%と続いた。前回調査と比べ「4回目以上」が1.8ポイントの増加、「3回目」が1.4ポイントの減少などとなっている。

県内旅行者では「4回目以上」が82.7%で最も多く、次いで「3回目」が8.5%、「2回目」が4.5%と続いた。前回調査と比べ「3回目」が3.8ポイントの増加、「4回目以上」が4.2ポイントの減少などとなっている。

図 6-2 訪問時期(%)



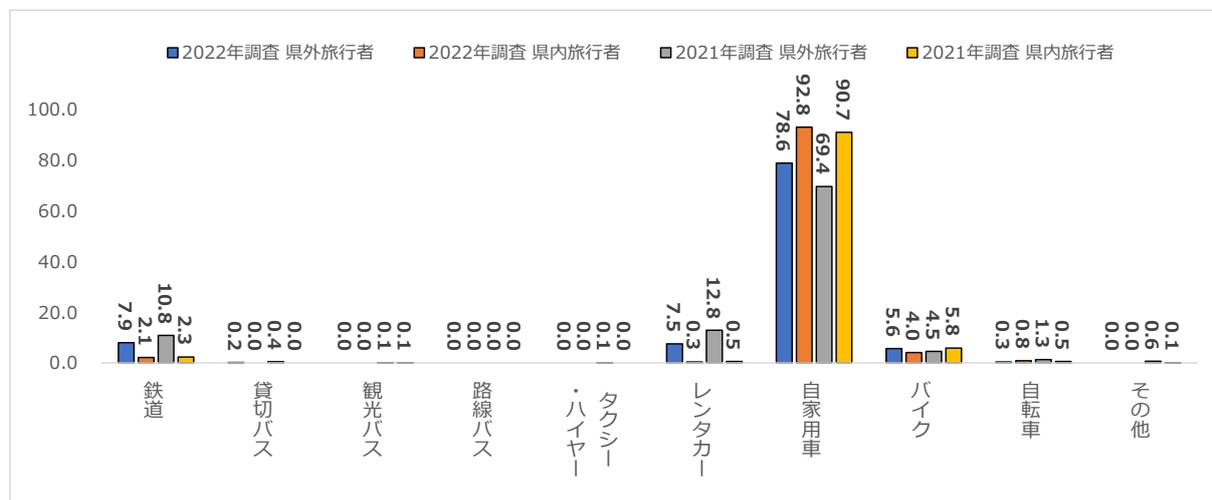
前回の訪問時期をみると、県外旅行者では「夏(6月~8月)」が53.2%で最も多く、次いで「春(3月~5月)」が32.0%、「冬(12月~2月)」が10.7%と続いた。前回調査と比べ「夏(6月~8月)」が14.3ポイントの増加、「秋(9月~11月)」が32.1ポイントの減少などとなっている。

県内旅行者では「夏(6月~8月)」が57.5%で最も多く、次いで「春(3月~5月)」が27.9%、「冬(12月~2月)」が8.6%と続いた。前回調査と比べ「夏(6月~8月)」が17.5ポイントの増加、「秋(9月~11月)」が36.2ポイントの減少などとなっている。

7. 利用交通機関

四万十町までの移動には、主にどの交通機関を利用されましたか。

図 7-1 入込交通機関(%)



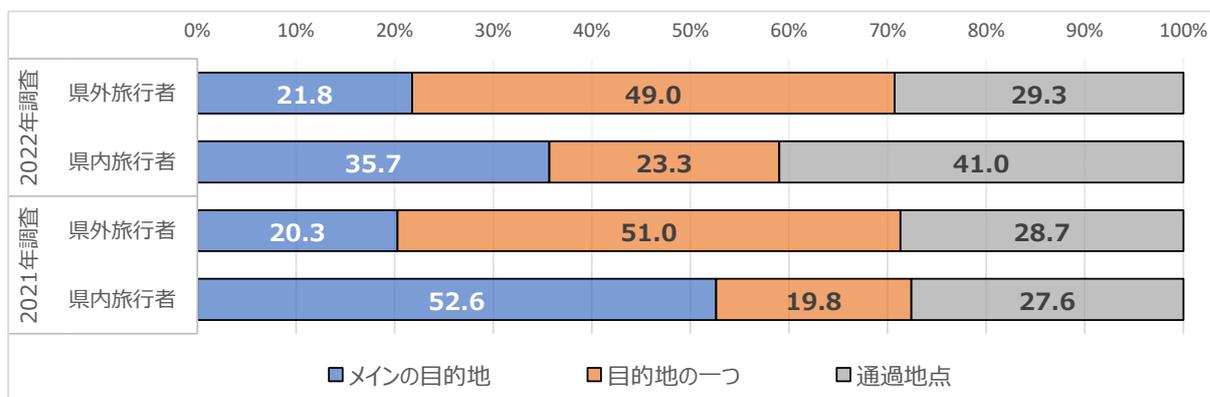
来町の際に利用した主な交通機関を尋ねたところ、県外旅行者では「自家用車」が78.6%で最も多く、次いで「鉄道」が7.9%、「レンタカー」が7.5%と続いた。前回調査と比べ「自家用車」が9.2ポイントの増加、「レンタカー」が5.3ポイントの減少などとなっている。

県内旅行者では「自家用車」が92.8%で最も多く、次いで「バイク」が4.0%、「鉄道」が2.1%と続いた。前回調査と比べ「自家用車」が2.1ポイントの増加、「バイク」が1.8ポイントの減少などとなっている。

8. 旅行先としての四万十町

今回の旅行先として、四万十町は以下のどれに当てはまりますか。

図 8-1 旅行先(%)



旅行先として四万十町の位置づけを尋ねたところ、県外旅行者では「目的地の一つ」が49.0%で最も多く、次いで「通過地点」が29.3%、「メインの目的地」が21.8%と続いた。前回調査と比べ「メインの目的地」が1.5ポイントの増加、「目的地の一つ」は2.0ポイントの減少などとなっている。

県内旅行者では「通過地点」が41.0%で最も多く、次いで「メインの目的地」が35.7%、「目的地の一つ」が23.3%と続いた。前回調査と比べ「通過地点」が13.4ポイントの増加、「メインの目的地」が16.9ポイントの減少などとなっている。

9. 理由・同時に検討した目的地

旅行先として四万十町を選んだ理由をお聞かせください。(F A)

表 9-1 理由一覧(件)

具体的な記述内容 (集約したもの)	件数
四万十川・沈下橋の見物等をするため	77
遍路をしている	69
キャンプをするため	42
観光列車への乗車、鉄道を使った旅行をするため	39
食事・軽食をするため (うなぎ、かき氷、豚丼など)	36
ドライブやツーリング	34
帰省・親族を訪ねるため	28
ジップラインをするため	25
岩本寺を目当てに (参拝、アート見物)	22
川遊びをするため	21
買い物をするため (お土産、焼酎、芋けんぴなど)	18
道の駅めぐり	16
自然見物	14
カフェを目当てに (おちゃくりカフェ、カフェ半平など)	14
温泉	11
イベント (アリスと謎解きの旅、ホビー館など)	11
アクティビティ (カヌー、ラフティングなど)	8
ホビー館に行くため	8
道の駅スタンプラリー	7
海水浴をするため	5
景色を楽しむため	5
その他、5件未満の少数意見	41

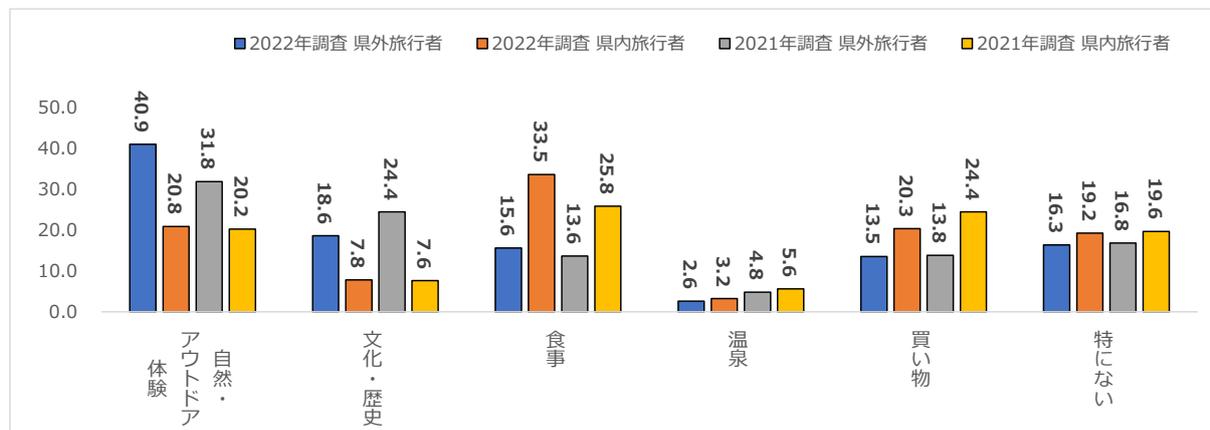
また、今回の旅行を計画する際に、あわせて検討したものの選ばなかった旅行先があればお聞かせください。(F A)

- 香川県 (居住地：高知県土佐市 調査地点：美馬旅館 旅行の目的：自然・アウトドア体験)
- 四国カルスト、にこ淵、桂浜、足摺岬、柏島、仁淀川 (居住地：東京都 調査地点：美馬旅館 旅行の目的：自然・アウトドア体験)
- 柏島 (居住地：神奈川県 調査地点：美馬旅館 旅行の目的：自然・アウトドア体験)
- 高知城、松山城 (居住地：埼玉県 調査地点：ファミリーロッジ旅籠屋・四万十店 旅行の目的：自然・アウトドア体験)
- 仁淀川 (居住地：大阪府 調査地点：ファミリーロッジ旅籠屋・四万十店 旅行の目的：自然・アウトドア体験)
- 足摺岬、高知市 (居住地：埼玉県 調査地点：ファミリーロッジ旅籠屋・四万十店 旅行の目的：自然・アウトドア体験)
- 仁淀川 (居住地：岐阜県 調査地点：ファミリーロッジ旅籠屋・四万十店 旅行の目的：自然・アウトドア体験、文化・歴史)
- 香川県 (居住地：兵庫県 調査地点：ファミリーロッジ旅籠屋・四万十店 旅行の目的：食事、温泉)
- 山口県(長門、萩)、香川県(小豆島) (居住地：愛知県 調査地点：ファミリーロッジ旅籠屋・四万十店 旅行の目的：自然・アウトドア体験)
- 大豊町(梶ヶ森) (居住地：高知県高知市 調査地点：ホテル松葉川温泉 旅行の目的：温泉)
- 柏島 (居住地：大阪府 調査地点：道の駅四万十とおわ 旅行の目的：自然・アウトドア体験)
- 仁淀川 (居住地：神奈川県 調査地点：道の駅四万十とおわ 旅行の目的：自然・アウトドア体験)
- 四万十市 (居住地：兵庫県 調査地点：道の駅四万十とおわ 旅行の目的：自然・アウトドア体験、文化・歴史、食事)
- 四国カルスト、にこ淵、桂浜、足摺岬、柏島、仁淀川 (居住地：岡山県 調査地点：道の駅四万十とおわ 旅行の目的：自然・アウトドア体験)
- 仁淀川 (居住地：群馬県 調査地点：道の駅四万十とおわ 旅行の目的：自然・アウトドア体験)

10. 来町の目的

今回は主にどのような目的で四万十町を訪ねましたか。(MA)

図 10-1 来町目的(%)



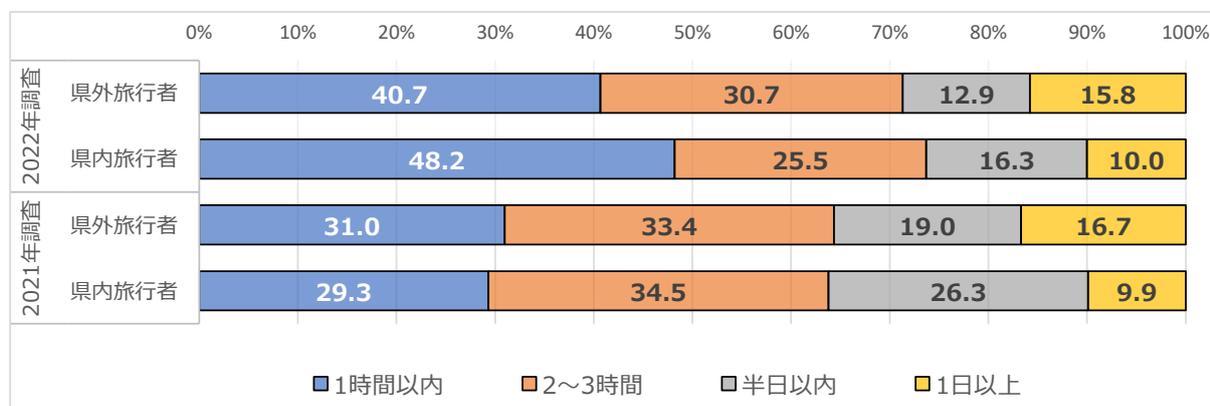
主な来町の目的を尋ねたところ、県外旅行者では「自然・アウトドア体験」が40.9%で最も多く、次いで「文化・歴史」が18.6%、「特になし」が16.3%と続いた。前回調査と比べ「自然・アウトドア体験」が9.1ポイントの増加、「文化・歴史」が5.8ポイントの減少などとなっている。

県内旅行者では「食事」が33.5%で最も多く、次いで「自然・アウトドア体験」が20.8%、「買い物」が20.3%と続いた。前回調査と比べ「食事」が7.7ポイントの増加、「買い物」が4.1ポイントの減少などとなっている。

11. 滞在予定

四万十町でどのくらいの滞在を予定していますか。

図 11-1 滞在予定(%)



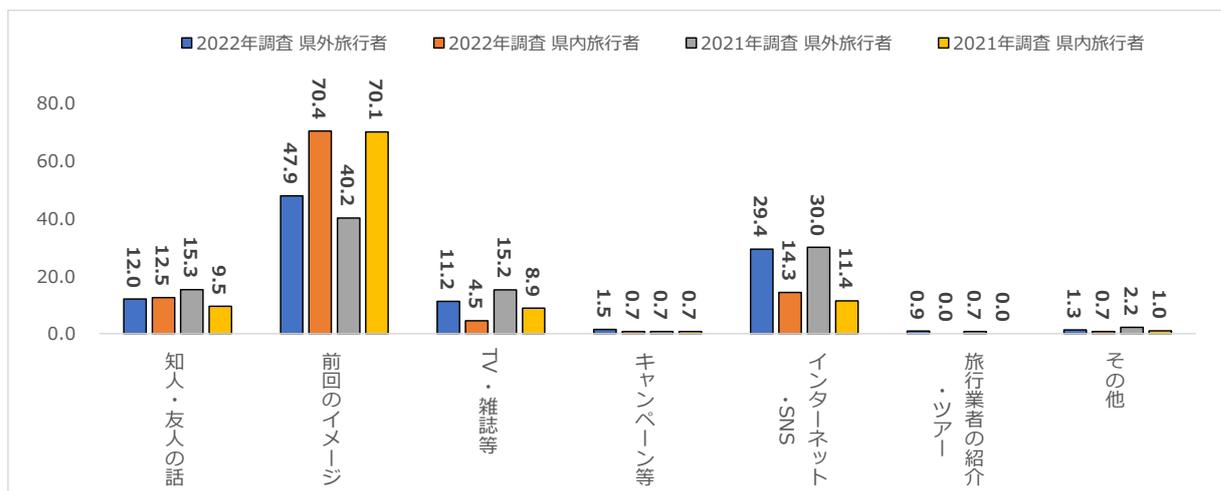
四万十町での滞在予定を尋ねたところ、県外旅行者では「1時間以内」が40.7%で最も多く、次いで「2～3時間」が30.7%、「1日以上」が15.8%と続いた。前回調査と比べ「1時間以内」が9.7ポイントの増加、「半日以内」が6.1ポイントの減少などとなっている。

県内旅行者では「1時間以内」が48.2%で最も多く、次いで「2～3時間」が25.5%、「半日以内」が16.3%と続いた。前回調査と比べ「1時間以内」が18.9ポイントの増加、「半日以内」が10.0ポイントの減少などとなっている。

12. 参考にした情報源

四万十町での観光で参考にした情報源があればお聞かせください。(MA)

図 12-1 情報源(%)



参考にした情報源を尋ねたところ、県外旅行者では「前回のイメージ」が47.9%で最も多く、次いで「インターネット・SNS」が29.4%、「知人・友人の話」が12.0%と続いた。前回調査と比べ「前回のイメージ」が7.7ポイントの増加、「TV・雑誌等」が4.0ポイントの減少などとなっている。

県内旅行者では「前回のイメージ」が70.4%で最も多く、次いで「インターネット・SNS」が14.3%、「知人・友人の話」が12.5%と続いた。前回調査と比べ「知人・友人の話」が3.0ポイントの増加、「TV・雑誌等」が4.4ポイントの減少などとなっている。

具体的に回答のあった情報源としては、「TV・雑誌等」では、るるぶ(14件)、まっぷる(4件)、遍路のガイド本(3件)などが、「キャンペーン等」では、道の駅スタンプラリー(4件)などが、「インターネット・SNS」では、インスタグラム(32件)、ツイッター(3件)、グーグルマップ(3件)などがあった。

13. 周遊先

今回の旅行で訪れた（訪れる予定にしている）四万十町内の観光地をお聞かせください。（MA）

表 13-1 四万十町内の周遊先<回答数が5件以上>(件・%)

	件数 (件)	構成比 (%)
道の駅めぐり窪川	521	51.5
道の駅四万十とおわ	302	29.8
岩本寺	151	14.9
JR窪川駅	54	5.3
海洋堂ホビー館四万十	49	4.8
道の駅四万十大正	43	4.2
四万十川	40	4.0
四万十川ジップライン	40	4.0
ふるさと交流センター	40	4.0
ホテル松葉川温泉	39	3.9
水車亭	30	3.0
ウエル花夢	30	3.0
ファミリーロッジ旅籠屋 四万十店	26	2.6

	件数 (件)	構成比 (%)
ゆういんぐ四万十	22	2.2
カフェ半平	22	2.2
まるい	17	1.7
美馬旅館	16	1.6
興津海水浴場	12	1.2
うなきち	10	1.0
沈下橋	10	1.0
一斗俵沈下橋	8	0.8
海洋堂かっぱ館	8	0.8
しまんとえきめしFORM	7	0.7
サンシャインしまんとハマヤ店	6	0.6
満州軒	6	0.6

四万十町内での周遊先（調査地点も含む）を尋ねたところ、「道の駅めぐり窪川」が51.5%で最も多く、次いで「道の駅四万十とおわ」が29.8%、「岩本寺」が14.9%と続いた。

また、四万十町に来る前とこれから訪問する観光エリアについてもお聞かせください。

表 13-2 直前・直後の訪問エリア<回答数が5件以上>(件・%)

	件数 (件)	構成比 (%)
四万十市	241	23.8
高知市	190	18.8
土佐清水市	141	13.9
愛媛県	120	11.9
道の駅よって西土佐	54	5.3
土佐市	49	4.8
中土佐町	43	4.2
黒潮町	40	4.0
大月町	24	2.4
宿毛市	22	2.2
須崎市	14	1.4

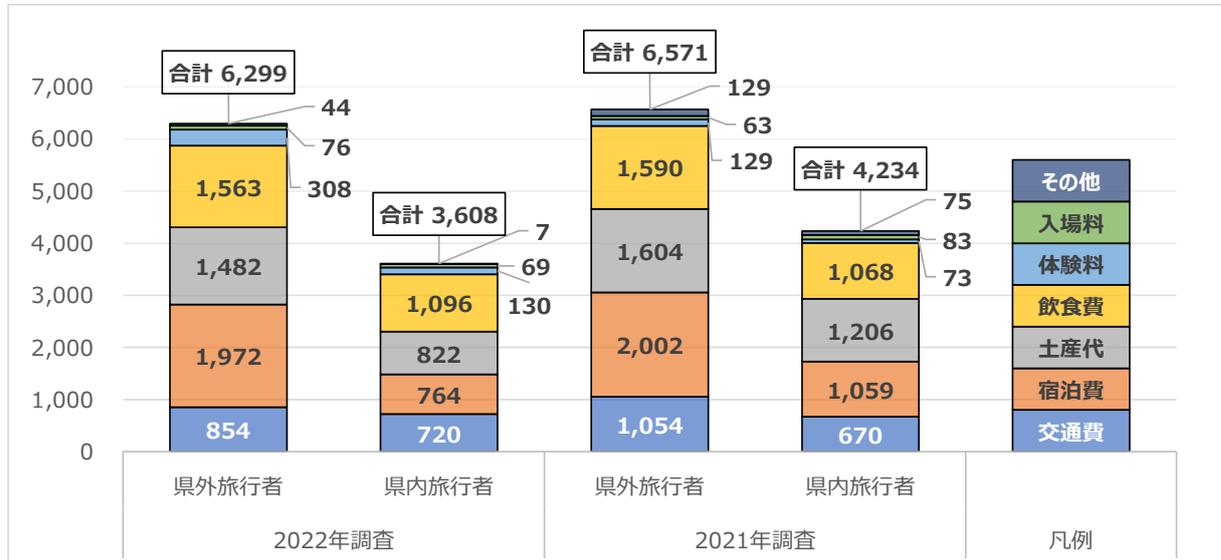
	件数 (件)	構成比 (%)
香川県	13	1.3
仁淀川	12	1.2
徳島県	12	1.2
四国カルスト	12	1.2
梶原町	12	1.2
いの町	11	1.1
南国市	11	1.1
道の駅なぶら土佐佐賀	7	0.7
道の駅かわうその里すさき	7	0.7
道の駅ピオスおおがた	7	0.7

四万十町を訪れる直前、直後に訪れる予定の観光エリアを尋ねたところ、「四万十市」が23.8%で最も多く、次いで「高知市」が18.8%、「土佐清水市」が13.9%と続いた。

14. 町内平均消費額

今回の旅行で四万十町内で使う（これから使う予定も含めて）1人あたりの費用を、下欄の項目別にお聞かせください。

図 14-1 町内平均消費額(円)



※ いずれもバック利用客を除く。

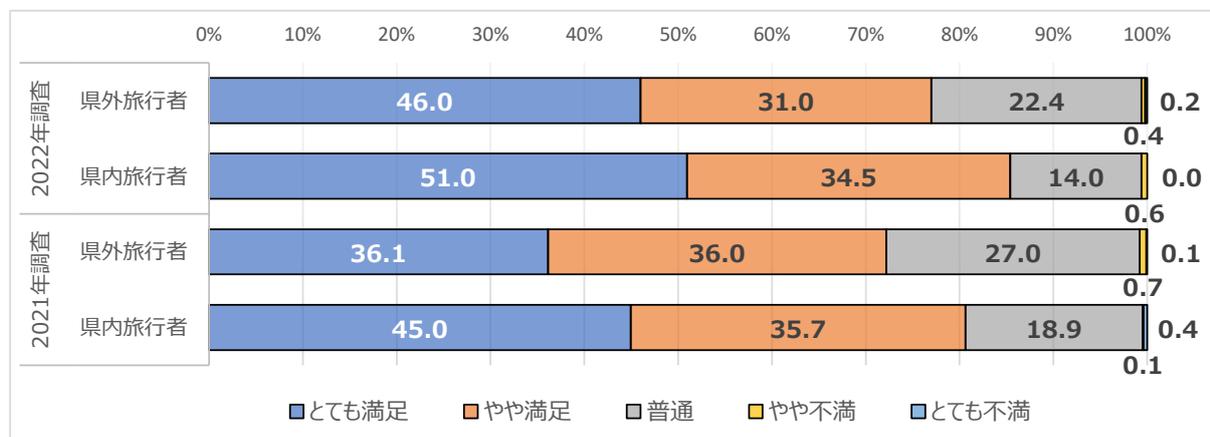
四万十町内での平均消費額を尋ねたところ、県外旅行者では総額 6,299 円となり、費目別では「宿泊費」が 1,972 円で最も多く、次いで「飲食費」が 1,563 円、「土産代」が 1,482 円などと続いた。前回調査と比べ、総額では 272 円の減少、費目別では「体験料」が 179 円の増加、「交通費」が 200 円の減少などとなっている。

県内旅行者は総額 3,608 円となり、費目別では「飲食費」が 1,096 円で最も多く、次いで「土産代」が 822 円、「宿泊費」が 764 円などと続いた。前回調査と比べ、総額では 626 円の減少、費目別では「体験料」が 57 円の増加、「土産代」が 384 円の減少などとなっている。

15. 総合満足度

四万十町の総合的な満足度をお聞かせください。

図 15-1 総合満足度(%)



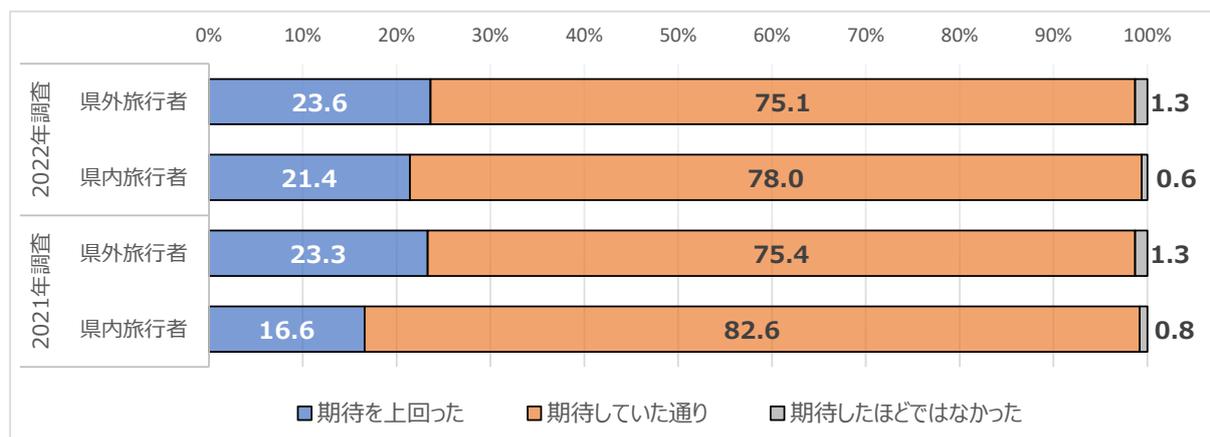
四万十町の総合満足度を尋ねたところ、県外旅行者では「とても満足」が46.0%で最も多く、次いで「やや満足」が31.0%、「普通」が22.4%が続いた。前回調査と比べ「満足」の合計が4.9ポイントの増加、「普通」が4.6ポイントの減少、「不満」の合計が0.2ポイントの減少となっている。

県内旅行者では「とても満足」が51.0%で最も多く、次いで「やや満足」が34.5%、「普通」が14.0%が続いた。前回調査と比べ「満足」の合計が4.8ポイントの増加、「普通」が4.9ポイントの減少、「不満」の合計が0.1ポイントの増加となっている。

16. 期待と実際のギャップ

訪れる前に寄せていた四万十町へのご期待と、実際に来てみた満足度のギャップはいかがですか。

図 16-1 ギャップ(%)



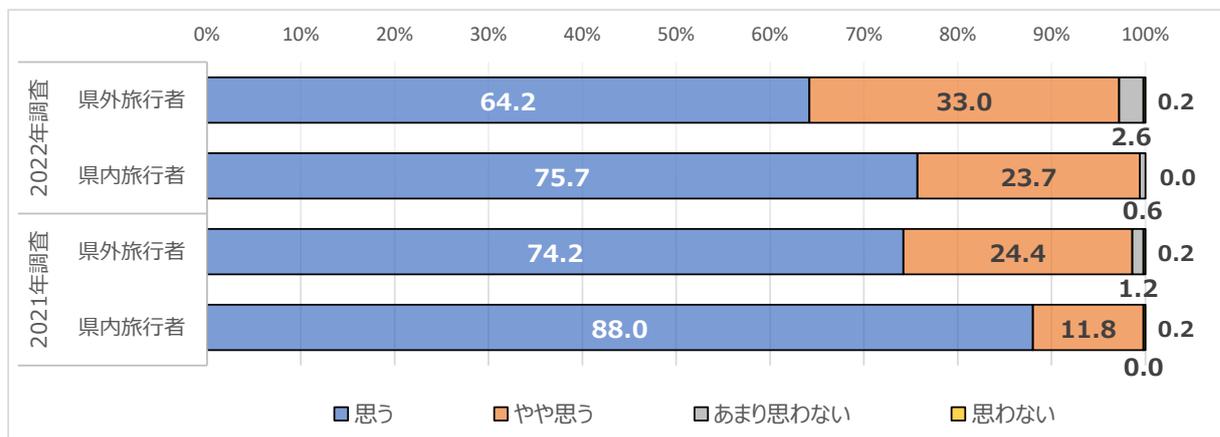
期待と実際のギャップについて尋ねたところ、県外旅行者では「期待していた通り」が75.1%で最も多く、次いで「期待を上回った」が23.6%、「期待したほどではなかった」が1.3%と続いた。前回調査と比べ「期待を上回った」が0.3ポイントの増加となっている。

県内旅行者では「期待していた通り」が78.0%で最も多く、次いで「期待を上回った」が21.4%、「期待したほどではなかった」が0.6%と続いた。前回調査と比べ「期待を上回った」が4.8ポイントの増加となっている。

17. 再訪の意向

四万十町へまた来たいと思いますか。

図 17-1 再訪意向(%)



四万十町へまた来たいかを尋ねたところ、県外旅行者では「思う」が64.2%で最も多く、次いで「やや思う」が33.0%、「あまり思わない」が2.6%、「思わない」が0.2%と続いた。前回調査と比べ「また来たいと思う」の合計が1.4ポイントの減少となっている。

県内旅行者では「思う」が75.7%で最も多く、次いで「やや思う」が23.7%、「思わない」が0.6%と続いた。前回調査と比べ「また来たいと思う」の合計が0.4ポイントの減少となっている。

III クロス集計

1. 参考にした情報源

表 1-1 居住地×情報源(%)

Q12

		知人・友人の話	前回のイメージ	TV・雑誌等	キャンペーン等	インターネット・SNS	旅行業者の紹介・ツアー	その他
n								
Q1	北海道・東北	4	-	25.0	50.0	-	25.0	-
	関東	87	13.8	24.1	23.0	-	42.5	2.3
	新潟・北陸	0	-	-	-	-	-	-
	甲信・東海	15	6.7	26.7	33.3	-	33.3	6.7
	近畿	122	16.4	44.3	6.6	0.8	35.2	-
	中国	48	14.6	41.7	10.4	-	35.4	-
	四国	164	8.5	69.5	5.5	3.7	13.4	0.6
	高知県	287	12.5	70.4	4.5	0.7	14.3	-
	九州・沖縄	26	7.7	34.6	11.5	-	46.2	-

※ 網掛け:居住地の地域ブロックごとの最高値

近畿、中国、四国、高知県から訪れた旅行者の情報源は「前回のイメージ」の割合が、関東と九州・沖縄は「インターネット・SNS」が、北海道・東北は「TV・雑誌等」が、甲信・東海は「TV・雑誌等」と「インターネット・SNS」がそれぞれ最も多くなっている。

表 1-2 入込交通機関×情報源(%)

Q12

		知人・友人の話	前回のイメージ	TV・雑誌等	キャンペーン等	インターネット・SNS	旅行業者の紹介・ツアー	その他
n								
Q7	鉄道	30	10.0	20.0	30.0	-	26.7	10.0
	貸切バス	1	-	-	-	-	100.0	-
	観光バス	0	-	-	-	-	-	-
	路線バス	0	-	-	-	-	-	-
	タクシー・ハイヤー	0	-	-	-	-	-	-
	レンタカー	43	11.6	16.3	30.2	-	51.2	-
	自家用車	632	12.5	60.1	6.5	1.4	22.2	-
	バイク	38	10.5	71.1	2.6	-	15.8	-
	自転車	4	-	75.0	-	-	25.0	-
	その他	0	-	-	-	-	-	-

※ 網掛け:交通機関ごとの最高値

自家用車・バイクで来町した旅行者の情報源は「前回のイメージ」の割合が、レンタカーは「インターネット・SNS」が、鉄道は「TV・雑誌等」がそれぞれ最も多くなっている。

表 1-3 直前・直後の訪問エリア×情報源(%)

		Q12							
n		知人・友人の話	前回のイメージ	TV・雑誌等	キャンペーン等	インターネット・SNS	旅行者の紹介・ツアー	その他	
Q13	四万十市	177	11.3	57.1	7.3	0.6	22.0	1.1	1.1
	高知市	119	11.8	34.5	18.5	-	31.9	2.5	2.5
	土佐清水市	81	8.6	67.9	6.2	-	17.3	1.2	-
	愛媛県	82	12.2	23.2	23.2	1.2	46.3	1.2	2.4
	道の駅よって西土佐	40	12.5	62.5	7.5	7.5	12.5	-	-
	土佐市	28	10.7	64.3	10.7	-	14.3	-	-
	中土佐町	35	8.6	71.4	2.9	5.7	14.3	-	-
	黒潮町	29	6.9	65.5	-	3.4	24.1	-	-
	大月町	18	33.3	33.3	16.7	-	33.3	-	-
	宿毛市	16	-	87.5	6.3	-	12.5	-	-

※ 網掛け:直前・直後の訪問エリアごとの最高値

四万十町に来る前とこれから訪問する観光エリアで、愛媛県と回答した旅行者の情報源は「インターネット・SNS」の割合が、大月町と回答した旅行者は、「知人・知人の話」「前回のイメージ」「インターネット・SNS」が、その他の観光エリアと回答した旅行者は「前回のイメージ」がそれぞれ最も多くなっている。

2. 四万十町が旅行の目的地の旅行者層

表 2-1 四万十町が旅行の目的地×居住地(%)

		Q1									
		n	北海道・東北	関東	新潟・北陸	甲信・東海	近畿	中国	四国	高知県	九州・沖縄
Q8	メインの目的地	272	-	5.1	-	1.8	13.6	4.8	23.5	49.6	1.5
	目的地の一つ	396	1.3	16.9	-	2.0	22.0	6.8	24.7	22.2	4.0

※ 網掛け:旅行の目的地ごとの最高値

四万十町がメインの目的地と回答した旅行者の居住地は「高知県」が49.6%で最も多く、次いで「四国」が23.5%、「近畿」が13.6%と続き、目的地の一つと回答した旅行者は「四国」が24.7%で最も多く、次いで「高知県」が22.2%、「近畿」が22.0%と続いた。

表 2-2 四万十町が旅行の目的地×性別(%)

		Q2		
		n	男性	女性
Q8	メインの目的地	267	52.4	47.6
	目的地の一つ	392	60.2	39.8

※ 網掛け:旅行の目的地ごとの最高値

四万十町がメインの目的地と回答した旅行者の性別は「男性」が52.4%、「女性」が47.6%、目的地の一つと回答した旅行者は「男性」が60.2%、「女性」が39.8%と、ともに男性のほうが多くなっている。

表 2-3 四万十町が旅行の目的地×年代(%)

		Q2								
		n	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
Q8	メインの目的地	267	2.6	9.4	19.5	27.7	20.6	12.7	7.1	0.4
	目的地の一つ	392	1.8	10.7	12.5	25.0	25.3	17.3	6.9	0.5

※ 網掛け:旅行の目的地ごとの最高値

四万十町がメインの目的地と回答した旅行者の年代は「40歳代」が27.7%で最も多く、次いで「50歳代」が20.6%、「30歳代」が19.5%と続いた。

目的地の一つと回答した旅行者の年代は「50歳代」が25.3%で最も多く、次いで「40歳代」が25.0%、「60歳代」が17.3%と続いた。

表 2-4 四万十町が旅行の目的地×同行者(旅行形態)(%)

Q3

	n	一人旅	夫婦	家族	友人	団体	その他
Q8 メインの目的地	272	7.0	22.4	54.0	13.6	-	2.9
目的地の一つ	396	18.2	27.5	41.4	11.9	0.5	0.5

※ 網掛け:旅行の目的地ごとの最高値

四万十町がメインの目的地と回答した旅行者の同行者は「家族」が54.0%で最も多く、次いで「夫婦」が22.4%、「友人」が13.6%と続いた。

目的地の一つと回答した旅行者の同行者は「家族」が41.4%で最も多く、次いで「夫婦」が27.5%、「一人旅」が18.2%と続いた。

表 2-5 四万十町が旅行の目的地×来町目的(%)

Q10

	n	自然・ アウトドア 体験	文化・ 歴史	食事	温泉	買い物	特にない
Q8 メインの目的地	259	52.1	9.3	23.2	6.6	11.6	4.6
目的地の一つ	390	42.8	29.7	20.5	2.6	11.8	2.6

※ 網掛け:旅行の目的地ごとの最高値

四万十町がメインの目的地と回答した旅行者の来町目的は「自然・アウトドア体験」が52.1%で最も多く、次いで「食事」が23.2%、「買い物」が11.6%と続いた。

目的地の一つと回答した旅行者の来町目的は「自然・アウトドア体験」が42.8%で最も多く、次いで「文化・歴史」が29.7%、「食事」が20.5%と続いた。

表 2-6 四万十町が旅行の目的地×四万十町内の周遊先<上位 12 ヶ所> (%)

Q13

		道の駅 あぐり 窪川	道の駅 四万十 とおわ	岩本寺	JR 窪川駅	海洋堂 ホビー館 四万十	道の駅 四万十 大正	
n								
Q8	メインの目的地	272	36.4	41.5	12.9	1.8	6.3	6.6
	目的地の一つ	396	37.9	34.6	28.0	9.6	6.3	5.1

Q13

		四万十川	四万十川 ジップ ライン	ふるさと 交流 センター	ホテル 松葉川 温泉	水車亭	ウエル花夢	
n								
Q8	メインの目的地	272	4.0	7.4	12.9	8.8	3.7	9.2
	目的地の一つ	396	6.6	5.1	1.0	3.0	4.5	1.0

※ 網掛け:旅行の目的地ごとの最高値

四万十町がメインの目的地と回答した旅行者の町内周遊先は、「道の駅四万十とおわ」の割合が41.5%で最も多く、次いで「道の駅あぐり窪川」が36.4%、「岩本寺」と「ふるさと交流センター」が12.9%と続いた。

目的地の一つと回答した旅行者の町内周遊先は、「道の駅あぐり窪川」の割合が37.9%で最も多く、次いで「道の駅四万十とおわ」が34.6%、「岩本寺」が28.0%と続いた。

3. 観光消費額

表 3-1 居住地×町内平均消費額(円)

Q14

	n	交通費	宿泊費	土産代	飲食費	体験料	入場料	その他	総額
Q1 北海道・東北	5	528	4,800	1,200	3,900	-	-	-	10,428
関東	100	1,083	2,491	1,686	1,561	575	28	9	7,433
新潟・北陸	0	-	-	-	-	-	-	-	0
甲信・東海	20	918	808	1,440	1,170	275	50	-	4,661
近畿	178	859	2,612	1,812	2,028	433	106	32	7,882
中国	60	950	1,373	1,250	1,399	217	83	35	5,307
四国	222	748	1,422	1,250	1,249	106	79	80	4,934
高知県	375	720	764	822	1,096	130	69	7	3,608
九州・沖縄	28	655	2,024	1,084	1,307	446	57	21	5,594

居住地別にみた町内平均消費額の総額は「近畿」が7,882円で最も高く、次いで「関東」が7,433円、「九州・沖縄」が5,594円と続いた。

表 3-2 性別・年齢×町内平均消費額(円)

Q14

	n	交通費	宿泊費	土産代	飲食費	体験料	入場料	その他	総額
Q2 男性	563	857	1,513	1,118	1,384	174	65	40	5,151
女性	423	733	1,521	1,382	1,394	330	85	16	5,461
10歳代	20	750	1,433	625	1,640	375	-	15	4,838
20歳代	113	700	717	696	940	305	42	8	3,408
30歳代	151	626	1,700	834	1,153	199	70	11	4,593
40歳代	262	1,067	2,597	1,478	1,899	448	142	10	7,641
50歳代	219	849	964	1,306	1,252	154	47	76	4,648
60歳代	143	697	1,443	1,472	1,370	42	52	36	5,112
70歳代	68	522	459	1,485	1,132	85	22	35	3,740
80歳以上	5	450	-	1,400	460	-	-	-	2,310

性別にみた町内平均消費額の総額は「女性」が5,461円、「男性」が5,151円と、女性のほうが高くなっている。

年代別では「40歳代」が7,641円で最も高く、次いで「60歳代」が5,112円、「10歳代」が4,838円と続いた。

表 3-3 同行者(旅行形態)×町内平均消費額(円)

Q14

		交通費	宿泊費	土産代	飲食費	体験料	入場料	その他	総額	
n										
Q3	一人旅	138	1,038	167	618	893	18	36	37	2,807
	夫婦	245	648	1,201	1,399	1,233	116	46	35	4,678
	家族	453	862	2,212	1,455	1,668	368	106	31	6,702
	友人	138	648	973	857	1,121	270	60	15	3,944
	団体	0	-	-	-	-	-	-	-	0
	その他	14	845	2,989	829	2,364	179	-	-	7,206

同行者別にみた町内平均消費額の総額は「その他」が7,206円で最も高く、次いで「家族」が6,702円、「夫婦」が4,678円と続いた。

表 3-4 旅行日程(町内宿泊数)×町内平均消費額(円)

Q14

		交通費	宿泊費	土産代	飲食費	体験料	入場料	その他	総額	
n										
Q5	日帰り	435	548	-	916	907	132	57	17	2,577
	町内で1泊	90	2,415	12,693	2,149	3,811	978	293	111	22,450
	町内で2泊	35	2,058	7,151	2,699	5,019	571	200	-	17,698
	町内で3泊	10	3,411	6,218	3,090	4,350	-	300	-	17,369
	町内で4泊以上	5	564	4,740	8,500	7,500	-	-	-	21,304

町内宿泊数別にみた町内平均消費額の総額は「町内で1泊」が22,450円で最も高く、次いで「町内で2泊」が17,698円、「町内で3泊」が17,369円と続いた。

表 3-5 訪問回数×町内平均消費額(円)

Q14

		交通費	宿泊費	土産代	飲食費	体験料	入場料	その他	総額	
n										
Q6	はじめて	267	936	2,469	1,235	1,785	601	86	22	7,134
	2回目	92	884	3,328	1,168	1,518	212	198	49	7,357
	3回目	68	802	1,184	1,151	1,240	184	71	46	4,678
	4回以上	549	710	796	1,238	1,174	78	47	29	4,072

訪問回数別にみた町内平均消費額の総額は「2回目」が7,357円で最も高く、次いで「はじめて」が7,134円、「3回目」が4,678円、「4回以上」が4,072円と続いた。

表 3-6 目的×町内平均消費額(円)

		Q14								
		n	交通費	宿泊費	土産代	飲食費	体験料	入場料	その他	総額
Q10	自然・アウトドア体験	313	1,195	3,054	1,384	2,426	727	130	36	8,952
	文化・歴史	139	682	842	945	1,101	115	132	125	3,942
	食事	216	768	1,394	1,074	1,580	69	116	5	5,006
	温泉	25	2,535	20,640	3,380	2,840	1,240	252	40	30,927
	買い物	155	542	279	1,975	650	23	15	-	3,484
	特にない	168	627	151	648	586	-	10	-	2,022

来町目的別にみた町内平均消費額の総額は「温泉」が30,927円で最も高く、次いで「自然・アウトドア体験」が8,952円、「食事」が5,006円と続いた。

表 3-7 滞在予定×町内平均消費額(円)

		Q14								
		n	交通費	宿泊費	土産代	飲食費	体験料	入場料	その他	総額
Q11	1時間以内	433	551	58	803	517	-	6	28	1,963
	2～3時間程度	285	520	140	1,066	1,152	187	49	26	3,140
	半日以内	138	851	1,752	1,503	1,792	788	149	2	6,837
	1日以上	123	2,305	9,270	2,770	4,550	593	275	81	19,844

滞在予定別にみた町内平均消費額の総額は「1日以上」が19,844円で最も高く、次いで「半日以内」が6,837円、「2～3時間程度」が3,140円、「1時間以内」が1,963円と続いた。

4. 四万十町での主な目的

表 4-1 居住地×来町目的(%)

Q10

		自然・ アウトドア 体験	文化・ 歴史	食事	温泉	買い物	特にない	
n								
Q1	北海道・東北	5	40.0	80.0	-	-	-	-
	関東	101	56.4	16.8	13.9	2.0	11.9	8.9
	新潟・北陸	0	-	-	-	-	-	-
	甲信・東海	21	38.1	23.8	9.5	-	19.0	14.3
	近畿	173	43.9	15.6	16.8	1.7	9.2	18.5
	中国	60	41.7	20.0	13.3	5.0	11.7	15.0
	四国	220	29.1	20.5	18.6	3.2	18.6	18.2
	高知県	370	20.8	7.8	33.5	3.2	20.3	19.2
	九州・沖縄	29	58.6	10.3	3.4	3.4	6.9	20.7

※ 網掛け:居住地の地域ブロックごとの最高値

居住地別にみた来町目的は、高知県では「食事」の割合が、その他の地域ブロックでは「自然・アウトドア体験」が最も多くなっている。

表 4-2 性別・年代×来町目的(%)

Q10

		自然・ アウトドア 体験	文化・ 歴史	食事	温泉	買い物	特にない	
n								
Q2	男性	556	33.3	16.2	19.8	2.5	14.4	20.0
	女性	421	33.5	12.1	25.9	3.3	18.3	13.8
	10歳代	21	38.1	14.3	9.5	4.8	4.8	28.6
	20歳代	110	38.2	8.2	30.9	1.8	9.1	16.4
	30歳代	152	29.6	11.2	27.6	5.3	16.4	18.4
	40歳代	263	44.1	13.3	19.4	1.5	13.3	16.7
	50歳代	214	29.9	19.2	23.4	2.3	19.2	12.6
	60歳代	138	26.8	19.6	15.9	4.3	16.7	20.3
	70歳代	67	16.4	11.9	19.4	1.5	28.4	25.4
	80歳以上	5	-	20.0	40.0	-	40.0	20.0

※ 網掛け:性別・年代ごとの最高値

性別にみた来町目的は、男性・女性ともに「自然・アウトドア体験」の割合が最も多くなっている。年代別にみた来町目的は、70歳代では「買い物」の割合が、その他の年代では「自然・アウトドア体験」が最も多くなっている。

表 4-3 同行者(旅行形態)×来町目的(%)

Q10

		自然・ アウトドア 体験	文化・ 歴史	食事	温泉	買い物	特にない	
n								
Q3	一人旅	136	22.1	32.4	13.2	-	7.4	26.5
	夫婦	240	28.8	17.1	17.5	3.8	23.3	18.8
	家族	452	38.5	9.5	23.2	2.9	17.3	15.3
	友人	136	33.1	10.3	36.0	3.7	9.6	14.0
	団体	2	100.0	-	-	-	-	-
	その他	13	46.2	-	38.5	7.7	-	7.7

※ 網掛け:同行者(旅行形態)ごとの最高値

同行者別にみた来町目的は、一人旅では「文化・歴史」の割合が、友人では「食事」、その他の同行者では「自然・アウトドア体験」が最も多くなっている。

5. 四万十町への訪問回数

表 5-1 訪問回数×居住地(%)

		Q1									
		北海道 ・東北	関東	新潟・ 北陸	甲信・ 東海	近畿	中国	四国	高知県	九州・ 沖縄	
n											
Q6	はじめて	276	0.7	25.7	-	5.4	31.9	10.1	15.2	5.8	5.1
	2回目	94	2.1	12.8	-	-	20.2	13.8	30.9	18.1	2.1
	3回目	74	1.4	2.7	-	1.4	13.5	8.1	29.7	43.2	-
	4回以上	556	-	3.8	-	0.9	11.3	2.7	23.4	55.8	2.2

※ 網掛け:訪問回数ごとの最高値

訪問回数別にみた居住地は、はじめてでは「近畿」の割合が、2回目では「四国」が、3回目と4回以上では「高知県」が最も多くなっている。

表 5-2 訪問回数×性別(%)

		Q2		
n		男性	女性	
Q6	はじめて	273	58.6	41.4
	2回目	94	61.7	38.3
	3回目	73	61.6	38.4
	4回以上	550	54.7	45.3

※ 網掛け:訪問回数ごとの最高値

訪問回数別にみた性別では、すべての訪問回数で「男性」の割合が多くなっている。

表 5-3 訪問回数×年代(%)

		Q2								
n		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
Q6	はじめて	273	2.6	15.8	14.3	28.6	26.0	10.3	2.6	-
	2回目	94	1.1	12.8	12.8	30.9	21.3	13.8	6.4	1.1
	3回目	73	6.8	9.6	13.7	32.9	24.7	8.2	2.7	1.4
	4回以上	550	1.5	9.3	16.9	24.5	20.2	17.3	9.8	0.5

※ 網掛け:訪問回数ごとの最高値

訪問回数別にみた年代は、すべての訪問回数で「40歳代」の割合が最も多くなっている。

表 5-4 訪問回数×同行者(旅行形態)(%)

Q3

		n	一人旅	夫婦	家族	友人	団体	その他
Q6	はじめて	276	14.1	23.6	45.3	14.5	-	2.5
	2回目	94	16.0	27.7	45.7	10.6	-	-
	3回目	74	21.6	20.3	37.8	17.6	-	2.7
	4回以上	556	12.9	25.0	47.1	13.7	0.4	0.9

※ 網掛け:訪問回数ごとの最高値

訪問回数別にみた同行者は、すべての訪問回数で「家族」の割合が最も多くなっている。

表 5-5 訪問回数×来町目的(%)

Q10

		n	自然・ アウトドア 体験	文化・ 歴史	食事	温泉	買い物	特にない
Q6	はじめて	271	54.2	18.8	12.5	2.2	7.4	13.3
	2回目	92	40.2	20.7	22.8	4.3	13.0	8.7
	3回目	73	24.7	19.2	26.0	5.5	13.7	17.8
	4回以上	532	22.6	10.7	27.1	2.6	21.2	20.7

※ 網掛け:訪問回数ごとの最高値

訪問回数別にみた来町目的は、はじめてと2回目では「自然・アウトドア体験」の割合が、3回目と4回以上では「食事」が最も多くなっている。

表 5-6 訪問回数×四万十町での周遊先<上位 12 ヶ所> (%)

Q13

		道の駅 あぐり 窪川	道の駅 四万十 とおわ	岩本寺	JR 窪川駅	海洋堂 ホビー館 四万十	道の駅 四万十 大正
	n						
Q6	はじめて	37.7	35.5	14.1	9.4	4.3	3.3
	2回目	43.6	19.1	29.8	4.3	7.4	1.1
	3回目	43.2	32.4	17.6	8.1	2.7	5.4
	4回以上	61.5	28.1	12.1	3.2	4.9	5.0

Q13

		四万十川	四万十川 ジップ ライン	ふるさと 交流 センター	ホテル 松葉川 温泉	水車亭	ウエル花夢
	n						
Q6	はじめて	9.1	7.6	6.9	5.1	2.5	2.2
	2回目	3.2	4.3	3.2	6.4	6.4	5.3
	3回目	1.4	4.1	1.4	4.1	1.4	4.1
	4回以上	2.0	2.0	2.9	2.9	2.7	2.3

※ 網掛け:訪問回数ごとの最高値

訪問回数別にみた町内周遊先は、すべての訪問回数で「道の駅あぐり窪川」の割合が最も多くなっている。

IV ご意見・ご感想

<調査地：ウエル花夢>

- 宿泊地が少ない。(大阪府・男性・40歳代)
- 天気があまり良くなく残念だった。(岡山県・男性・50歳代)
- きれいで使いやすいサイトでした。また利用したいです。(南国市・男性・40歳代)
- 自然が多くキャンプが楽しめる。(土佐市・男性・30歳代)
- 忘れ物をしてもすぐには買える店がない。ケビンの掃除が行き届いており気持ち良かった。(大阪府・女性・50歳代)
- ガソリンスタンドを探すのに困りました。セルフで遅くまで開いていたら助かります。(兵庫県・女性・40歳代)
- 今回、夕食はテイクアウト(弁当など)にしようと思っていたが、道中にお店やコンビニが少なく困りました。自然の多さと雰囲気はとても満足しています。(岡山県・男性・30歳代)
- 静かなキャンプ場だったので、家族でゆっくり過ごすことができた。(高知市・女性・10歳代)

<調査地：ファミリーロッジ旅籠屋四万十店>

- 自然の豊かさがメインなので、不自由さが程良い。利便性はあまり求めていない。山も川も海も食も素晴らしい。(大阪府・男性・40歳代)
- 四万十町と四万十市を混同し、混乱しました。(東京都・男性・40歳代)
- 夕食を取れるお店がロードサイドに少なかった。(東京都・男性・40歳代)
- 四万十川以外の目玉があれば目的地にしやすいです。(東京都・男性・40歳代)
- 道中(国道沿い)の飲食店が分かりづらかった。(岐阜県・男性・40歳代)
- 以前よりも高速道路が伸びたので来やすくなりました。犬と訪問・宿泊ができる場所があれば来たいです。(兵庫県・女性・40歳代)
- いつも四万十町の自然を楽しませてもらっています。(兵庫県・男性・40歳代)
- 子ども向けの食事処(ファミレス)があると便利な気がします。(愛知県・女性・40歳代)

<調査地：ホテル松葉川温泉>

- 松葉川温泉に来るまでの道が狭かった。(大阪府・男性・60歳代)
- 窪川あたりはよく通るのでそのイメージが強かったけれど、一步奥に入っても魅力があるところが多いと分かりました。(高知市・女性・60歳代)
- ホテル松葉川温泉に泊まりました。宿の方が親切で、温泉のお湯、景色もとても良くて大変楽しいひと時を過ごすことができました。(東京都・女性・40歳代)
- 子どもが安全に川遊びできるスポットを分かりやすく表示した地図などがあればありがたいと思います。今回は旅館で四万十川財団発行の「みんな おいで あそぼ」のパンフレットを手に入れ、姉妹版の「かわがせんせい」を探しましたが入手できず、四万十川財団のホームページでチェックして安全な川遊び場を確認しました。道の駅めぐり窪川など町の主要スポットでも、見つけやすいところに「みんな おいで あそぼ」と「かわがせんせい」の両方のパンフレット、ほか川遊びのスポットなどが載った分かりやすい地図を置いてくださると助かります。四万十町とても楽しめました。また来ますね。(兵庫県・女性・40歳代)
- とても素敵な町でした。機会があればまた来たいと思います。(高知市・男性・20歳代)
- アンケートがちょっと細かすぎです。(島根県・男性・50歳代)
- 松葉川温泉の湯がとても気持ち良かったです。夕食のデザートのコーンのアイスがとてもおいしかったです。(岡山県・女性・40歳代)

<調査地：美馬旅館>

- コンビニがない。(徳島県・女性・20歳代)
- 町内各地区を結ぶ公共交通機関(列車・バス)があまりにも不便。一年中オフシーズンのイメージ。コミュニティバスでの補足(例：北川奈半利)も見当たらない。町村合併により、町内観光資源は増えたはず。それをどのようにパッケージ化していくか、それが鍵であると感じる。(東京都・男性・60歳代)
- 前回訪ねた際、カメラのキャップを側溝に落としてしまった時に、近くにいた方が助けてくれて無事に拾うことができ、あたたかい町だと思いました。(愛媛県・女性・40歳代)
- のどかなところで田舎が好きな自分にとっては良い場所でした。(大阪府・男性・20歳代)
- 美馬旅館さんの本館和室に宿泊しました。ゆったりとした落ち着いたのある部屋で、心地よく過ごすことができました。近くにある喫茶淳に足を延ばしましたが、風味のあるとても美味しいコーヒーでした。(高知市・男性・60歳代)
- 山道が狭い。(東京都・男性・50歳代)

IV ご意見・ご感想

- HPで宿泊施設を見つけるのと予約までの手順が難しかったので、現地の宿に伺った。(神奈川県・男性・40歳代)

<調査地：JR窪川駅>

- 駅前が寂しい。土産の購入や食事ができるところがあれば、待ち時間がある人は立ち寄ると思う。(神奈川県・男性・30歳代)
- 町を散歩したが何もなかった。(東京都・男性・50歳代)
- 駅前にお土産店があると良い。(広島県・男性・30歳代)
- 駅前にレンタサイクルがあれば便利で、町を散策するかもしれない。(神奈川県・男性・20歳代)
- 高速道路を延伸してほしい。(四万十市・男性・60歳代)

<調査地：岩本寺>

- 車で四国八十八カ所を回っているが、岩本寺は誘導看板がしっかり設置されているので、すんなりとたどり着けた。(神奈川県・男性・20歳代)
- 役場庁舎がきれいで驚いた。(東京都・女性・40歳代)
- まるいのかき氷が人気で来たくなる。(高知市・女性・50歳代)
- 500円で中村・宿毛線の普通列車が乗り放題という「土佐くろおでかけきっぷ」がお得。(宿毛市・男性・20歳代)
- 四万十川に来たかったので、とても良かった。(広島県・女性・40歳代)
- アートな寺は予想以上だった。(香川県・女性・30歳代)
- 四万十川沿のキャンプ場は設備も良く、素晴らしいスポット。(徳島県・男性・60歳代)

<調査地：道の駅めぐり窪川>

- あぐりの豚まんがおいしい。(高知市・男性・30歳代)
- 交通面で遠くて不便なのがネックです。(大阪府・男性・40歳代)
- 豚串がおいしい。大満足です。(香川県・男性・30歳代)
- 先月はおにぎり屋さんのオープンで来た。今日は道の駅四万十とおわでの食事を楽しみにきました。新しいものができて、その度に行く目的ができて良い。(いの町・女性・60歳代)
- トイレが汚い。(静岡県・女性・年代不明)

IV ご意見・ご感想

- 豚まんはおいしそうなのに、店内でのアピールが少ないかもしれない。前の人が買わなければ気付かなかった。(香川県・男性・40歳代)
- 一斗俵の沈下橋がすごく良かった。(高知市・女性・40歳代)
- 渋滞が少なくて良い。愛媛からも来やすい場所。(愛媛県・女性・70歳代)
- 道の駅めぐり窪川は、高速道路のICを降りてすぐにあるのですごく便利。(大阪府・男性・40歳代)
- 活性化をお願いします。(大阪府・男性・50歳代)
- コロナのことを考えると、あちこちに出掛けるのは迷惑かなと思ってしまうので観光はほぼしていない。(大阪府・女性・60歳代)
- 高知龍馬空港から、なかなか遠いなというのが実感。(東京都・男性・60歳代)
- いつも同じなので慣れてしまった。もっと変化を。(高知市・女性・40歳代)
- 食の魅力が少ない。手軽につまめる軽食を充実させてほしい。(梶原町・男性・60歳代)
- 四万十川はダムがなく、生きているイメージで大好き。自然豊かでいい。(熊本県・男性・60歳代)
- もっと魅力を追加しないと飽きられる。(高知市・男性・60歳代)
- 何かいいものがあるかなと思ったが、興味を引かれるものは少なかった。(大阪府・男性・50歳代)
- お肉がおいしい。(四万十市・女性・50歳代)
- 観光できるところに魅力を感じない。目新しいところがない。(土佐清水市・男性・70歳代)
- お米が大好きで、いつも買いに来る。(高知市・男性・30歳代)
- 立ち寄れる場所が少ない。もっと店を増やしてほしい。(高知市・女性・10歳代)
- 子どもが遊ぶところがない。(いの町・女性・60歳代)
- 愛媛から4時間は遠い。(愛媛県・男性・60歳代)
- いつも野菜がおいしい。(高知市・女性・50歳代)
- 米豚の値上がりが、おいしいだけに残念。(高知市・男性・40歳代)
- 川がきれいでもいいと思う。ゆっくり見られたらいい。(三重県・女性・50歳代)

<調査地：道の駅四万十とおわ>

- 四万十川流域にはキャンプによく来ている。川沿いに走る国道 381 号はツーリングをしても、景色が良くて気に入っている。(愛媛県・男性・50 歳代)
- 四万十川というブランドで訪れてみたが、本当に何も無いところですね。何も無いのが良さでもあるとは思いますが…。(千葉県・男性・50 歳代)
- 片側通行が多く、予想以上に移動に時間がかかった。(大分県・男性・60 歳代)
- 景色の良いところは多いが、食事処は少ないように思う。(高知市・女性・60 歳代)
- 人が優しい。(東京都・女性・50 歳代)
- 中村の花火大会に行く時に毎回立ち寄ってモンブランを食べるのが恒例になっている。(徳島県・男性・年代不明)
- 自然豊かな素晴らしい町だと思う。(兵庫県・男性・50 歳代)
- 道幅が狭いところなどに交通整理の方がちゃんとして誘導してくれて助かった。(岡山県・男性・50 歳代)
- サイクリングなどで周辺の市町村と一緒に、イベントを盛り上げていくことができたらいいと思う。(須崎市・男性・20 歳代)
- 松山からドライブに最適な距離でとても来やすかったです。(愛媛県・女性・20 歳代)
- 国道 381 号沿いにもう少し飲食店があればいいですね。(大阪府・男性・40 歳代)
- 四国一周の旅をしている間に、どうしても四万十川を見たかった。(三重県・男性・40 歳代)
- 車椅子用駐車スペースに雨避けがあれば助かります。(高知市・女性・50 歳代)
- 川がきれい。(愛知県・男性・40 歳代)
- 町内にメインスポットがあれば、それを目的に来る。今は道中の休憩で立ち寄ることが多い。(愛媛県・男性・60 歳代)
- 道路の道幅が狭いところは改善してほしい。(愛媛県・女性・70 歳代)

<調査地：ふるさと交流センター>

- 最近ではキャンプサイト周辺の草刈りがちょっと不足している印象。マダニの心配もあるので、手入れはしっかりとお願いしたい。あわせてビオトープもぜひ手入れしてほしい。(四万十市・男性・60 歳代)
- ロケーション、トイレ・シャワーと設備も揃っていて、とてもいいキャンプ場です。(千葉県・男性・50 歳代)

V 所感

県外旅行者の動向から。

前回調査と比べて一定の変動があったデモグラフィックをみると、40歳代が8.9ポイント増（P6 2.性別・年齢）、家族旅行が18.8ポイント増（P7 3.同行者（旅行形態））となったことが目立った。また、同様に旅行目的等を見ると、帰省が5.7ポイント増（P8 4.旅行の企画・手配）、自然・アウトドア体験が9.1ポイント増（P16 10.来町の目的）となっていることから、40歳代の親世代とその子どもで構成されるファミリー層が自然・アウトドア体験を目的に、もしくは帰省で来町したケースが前回調査と比べて増加していると考えられる。

これは調査サンプルの大半を8月中～下旬という夏休みシーズンであり、海水浴や川遊び等が盛んな時季に取得していることが大きく影響していると考えられる。

ここで自然・アウトドア体験を来町目的と回答した県外旅行者に着目すると、九州・沖縄の58.6%、関東の56.4%、近畿の43.9%などと大半の地域ブロックにおいて、自然・アウトドア体験を目的に来町したと回答している割合が最も多くなっている（P30 クロス集計4-1）が、町内での滞在予定を尋ねると7割以上が日帰りとなっている（下記 参考1）。国内でも有数のブランド力を持つ“四万十川”が流れる四万十町であるが、それを目指して訪れる県外旅行者の多くは、沈下橋の架かる川の風景を見るだけとなっているのではないだろうか。

今回、調査を実施した夏休みシーズンであればなおさら、ラフティングやカヌー、SUP、キャンプなどといった川に触れて体感できるサービスを、ファミリー層に提供できる環境づくりや提供している事業者の情報が求められていると考えられる。

参考1 来町目的×滞在予定(%)【県外旅行者】

Q11

		n	1時間以内	2～3時間	半日以内	1日以上
Q10	自然・アウトドア体験	249	10.4	35.7	24.5	28.5
	文化・歴史	113	42.5	39.8	9.7	7.1
	食事	95	43.2	36.8	9.5	10.5
	温泉	16	0.0	0.0	25.0	75.0
	買い物	82	61.0	29.3	6.1	3.7
	特になし	99	86.9	5.1	2.0	6.1